

SpacePackageSystem Manual

SPS2 補足説明書



株式会社 し っ つ

www.sitiz.co.jp

≡ 目 次 ≡

I. はじめに	2
1. インストール方法	2
(1). CD の挿入	2
(2). 必須コンポーネントのインストール	2
(3). セットアップの開始	3
(4). ツールの選択	3
(5). インストール フォルダの選択	4
(6). インストールの確認	4
(7). インストールの完了	5
II. 追加された機能	6
1. ドッキングウィンドウ	6
(1). ウィンドウの移動とドッキング	6
(2). ウィンドウの最小化	7
(3). ウィンドウの表示と非表示	8
(4). プロジェクトを閉じる	8
2. マルチディスプレイ対応	9
(1). マルチディスプレイの特徴	9
(2). 別ウィンドウの設定	10
3. ツールバー	10
(1). 標準ツールバー	10
(2). 表示ツールバー	10
(3). リストツールバー	11
(4). 入力ツールバー	11
(5). 部材ツールバー	12
(6). 共通情報ツールバー	13
4. マニュアルの表示	13

I. はじめに

この解説書は SPS2 で新たに追加された機能を補足するためのものです。SPS 取扱説明書とあわせてご利用ください。

1. インストール方法

次に SPS2 のインストールの方法を説明します。

(1). CD の挿入

SPS2 のインストール用 CD を CD ドライブに挿入すると次のようなダイアログが表示されます。

※ SPS のアンインストール、アップデートなどもこの CD からできます

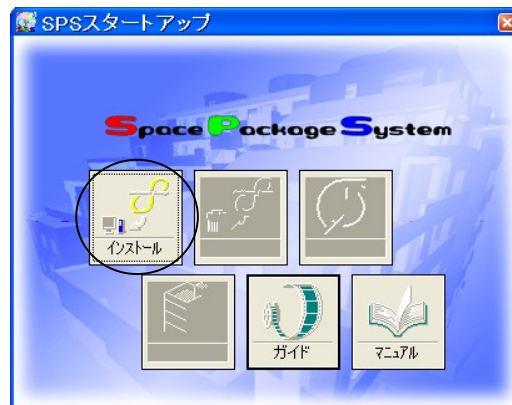


図1 SPS スタートアップダイアログ

図の左上にある「インストール」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。

(2). 必須コンポーネントのインストール

まずはじめに SPS2 に必要なコンポーネントがインストールされます。

※ すでに必要なコンポーネントがインストールされている場合、このダイアログは省略されることがあります

その場合「(3).セットアップの開始」以降の作業へ移ってください

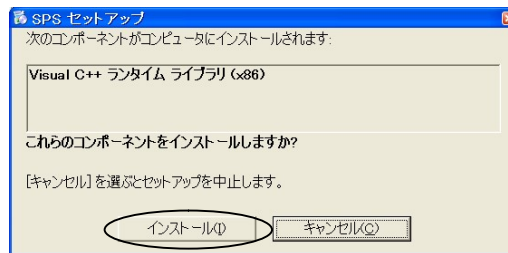


図2 必須コンポーネント

(3). セットアップの開始

内容を確認して「次へ」をクリックすると、インストールのためのセットアップを開始します。

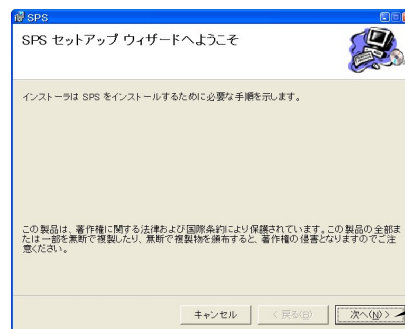


図3 セットアップの開始

※ これ以降のセットアップの画面では、**内容を変更せずに「次へ」を押していくことで、通常通り使用するためのインストールができます。**

(4). ツールの選択

SPS と一緒にインストールするツールを選択して「次へ」をクリックします。

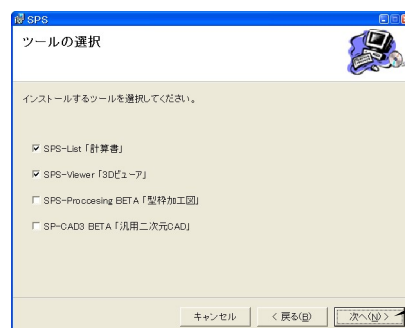


図4 ツールの選択

a. SPS-List「計算書」(標準)

SPS データから計算書を表示したり印刷するためのツールです。

b. SPS-Viewer「3D ビューア」(標準)

SPS データから建物を 3D 表示したり、ウォークスルーで建物内部を確認するためのツールです。

c. SPS-Processing BETA「型枠加工図」

SPS データから型枠加工図用の CAD データに変換するためのツールです。

※ 現在ベータバージョンとなっています

d. SP-CAD3 BETA「汎用二次元 CAD」

SPS-Processing で変換したデータを編集するための 2 次元 CAD です。

※ 現在ベータバージョンとなっています

(5). インストール フォルダの選択

SPS をインストールするフォルダを選択して「次へ」をクリックします。

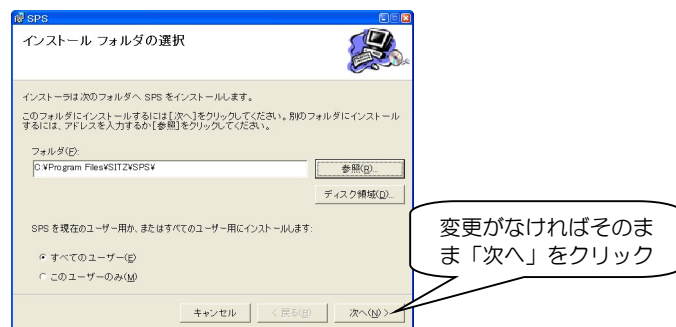


図5 インストール フォルダの選択

(6). インストールの確認

「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。

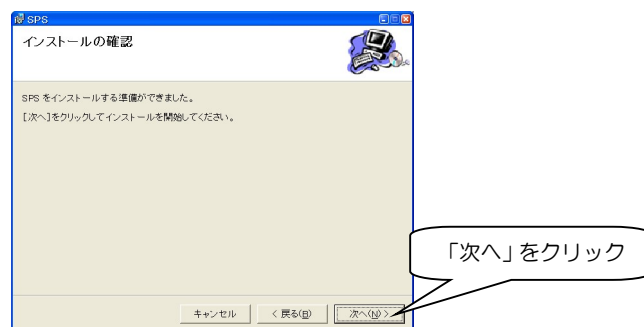


図6 インストールの確認

(7). インストールの完了

ファイルのコピーが完了したら「閉じる」をクリックしてインストールを完了してください。

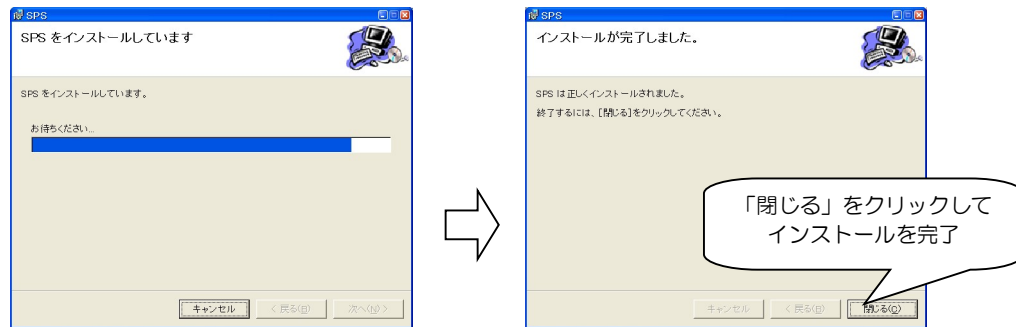


図7 インストールの完了

II. 追加された機能

1. ドッキングウィンドウ

キープランウィンドウとプロジェクトウィンドウが下図のようなドッキングウィンドウになりました。

ドッキングウィンドウはツールバーのようにウィンドウの4辺に貼り付けられるウィンドウで、画面全体を効率的に使用できます。

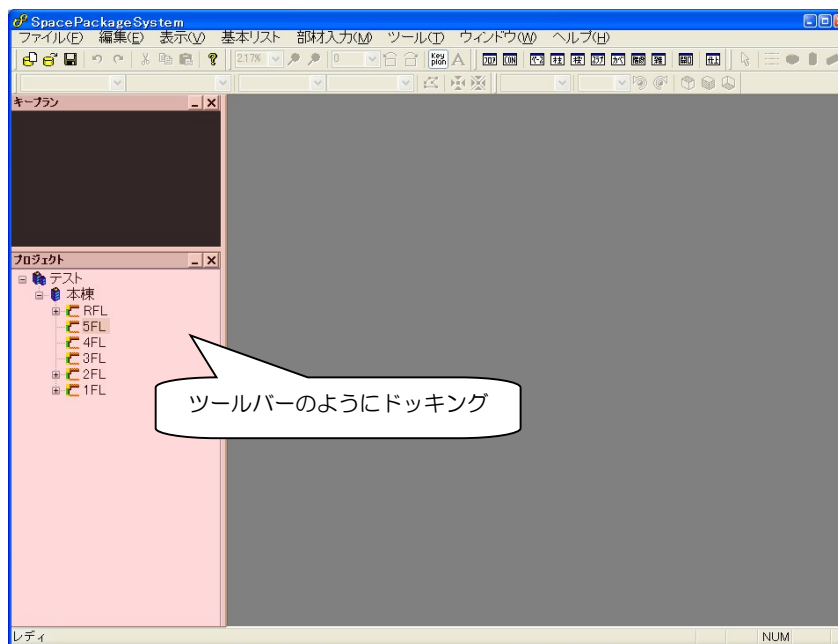


図8 ドッキングウィンドウ

(1). ウィンドウの移動とドッキング

a. ウィンドウの移動

ドッキングウィンドウのタイトル部分をドラッグすると、ウィンドウを移動することができます。

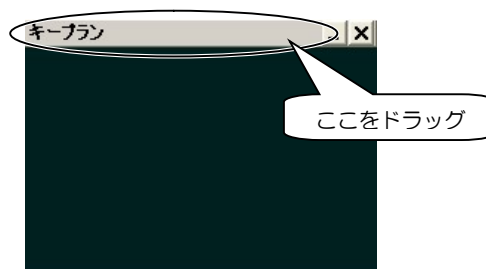


図9 タイトル部分

b. ウィンドウのドッキング

メインウィンドウの4辺近くにドラッグすると、その辺にドッキングします。

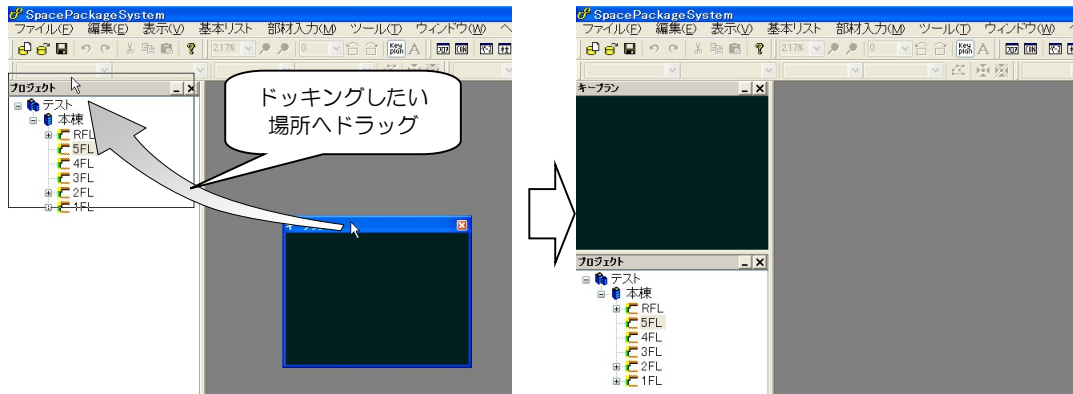


図10 通常のドラッグ

c. ドッキングさせない方法

意図的にドッキングさせたくない場合は、Ctrl キーを押した状態でドラッグするとドッキングしなくなります。

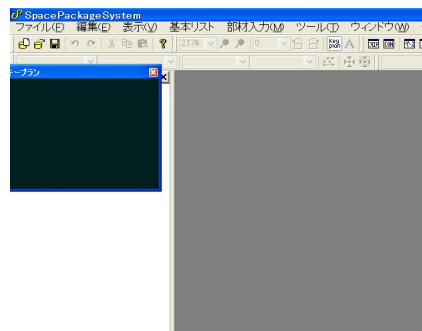


図11 Ctrl を押しながらドラッグ

(2). ウィンドウの最小化

最小化ボタン(下左図)をクリックすると下右図のようにドッキングウィンドウが最小化されます。

最小化されたタイトル部分(下右図)をダブルクリックすると元の状態に戻ります。

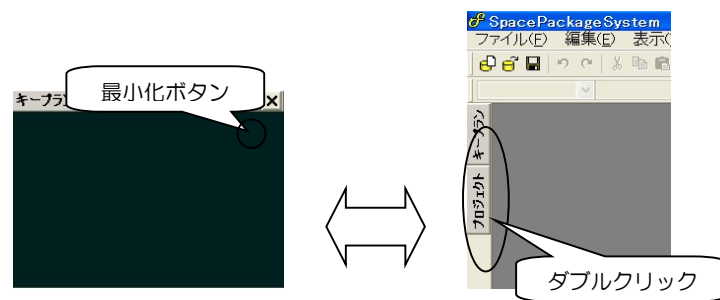


図12 ウィンドウの最小化

(3). ウィンドウの表示と非表示

ツールバーの上で右クリックすると下図のようなポップアップメニューが表示されます。

チェックの有/無が表示/非表示を表し、メニュー項目を選択すると表示と非表示が切り替わります。

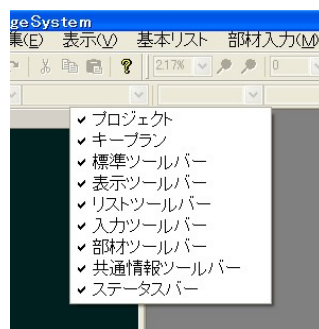


図13 コントロール表示/非表示メニュー

※ プロジェクトウィンドウを閉じてでもプロジェクトそのものは閉じられません。プロジェクトを閉じる場合は「(4).プロジェクトを閉じる」を参照してください

(4). プロジェクトを閉じる

プロジェクトを閉じる場合は、メニューの「ファイル → プロジェクトを閉じる」から閉じてください。

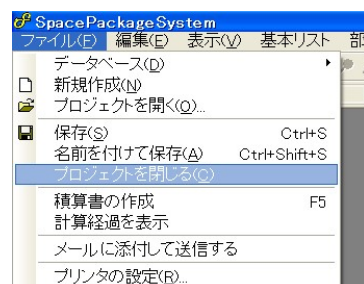


図14 プロジェクトを閉じる

また、新規プロジェクトを作成する場合や、既存プロジェクトを開く場合は自動的に閉じる旨の問い合わせメッセージが表示されます。

「はい」をクリックすると編集中のプロジェクトが閉じられて、新しいプロジェクトが開きます。

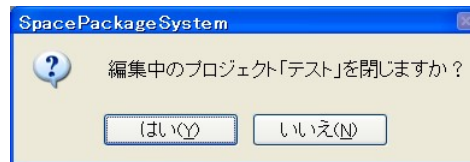


図15 問い合わせ

2. マルチディスプレイ対応

マルチディスプレイとは、1台のパソコンに2台以上のモニターを接続して画面を表示することで、作業スペースが広がり作業の効率をあげることができます。



図16 マルチディスプレイ

※ マルチディスプレイに対応しているパソコンをご使用いただく必要があります

(1). マルチディスプレイの特徴

マルチディスプレイを使用すると、2台のディスプレイに別々のウィンドウ(平面、断面、リストなど)を表示することができます。

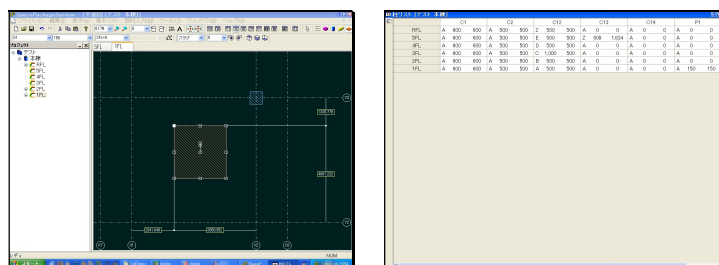


図17 別々のウィンドウを表示

(2). 別ウィンドウの設定

断面ウィンドウや各リストウィンドウのタイトル部分を右クリックして、ポップアップメニューの「別ウィンドウ」を選択することで図 17 のように別ウィンドウにしたり子ウィンドウに戻したりできます。

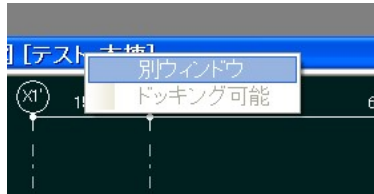


図18 別ウィンドウの設定

3. ツールバー

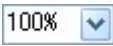
ツールバーは一部のレイアウトが変更され、新しくいくつかのボタンが追加されました。

(1). 標準ツールバー

	新規プロジェクト	新しいプロジェクトを作成します
	プロジェクトを開く	既存のプロジェクトファイルを開きます
	上書き保存	編集中のプロジェクトを保存します
	元に戻す	直前に行った作業を元に戻します
	やり直す	直前に戻した作業を再実行します
	切り取り	選択範囲をクリップボードへコピーしてから削除します
	コピー	選択範囲をクリップボードへコピーします
	貼り付け	クリップボードの内容を選択範囲に貼り付けます
	バージョン情報	SPS のバージョン情報を表示します

※ 元に戻す(UNDO)、やり直し(REDO)のボタンが追加されました

(2). 表示ツールバー

	表示倍率	平面/断面ウィンドウの倍率を表示します ドロップダウン及び直接入力で倍率の変更ができます
	拡大	平面/断面ウィンドウの表示を拡大します
	縮小	平面/断面ウィンドウの表示を縮小します
	表示角度	平面/断面ウィンドウの角度を表示します ドロップダウン及び直接入力で角度の変更ができます
	左回転	平面/断面ウィンドウの表示を通り真の角度に合わせて左回転します
	右回転	平面/断面ウィンドウの表示を通り真の角度に合わせて右回転します

	キープラン	キープランを表示/非表示します
	記号	部材の記号を表示/非表示します
	頂点スナップ	入力するポイントを他のオブジェクトの頂点へ吸着させます
	交点スナップ	入力するポイントを通り芯の交点へ吸着させます

※ 表示倍率が縮尺表示からパーセント表示に変更されました

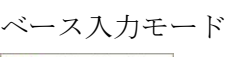
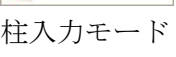
※ スナップボタンが部材ツールバーから移動されました

(3). リストツールバー

	フロアリスト	フロア情報リストを表示/非表示します
	コンクリート配分リスト	コンクリート配分リストを表示/非表示します
	ベースリスト	ベースリストを表示/非表示します
	柱リスト	柱リストを表示/非表示します
	梁リスト	梁リストを表示/非表示します
	スラブリスト	スラブリストを表示/非表示します
	壁リスト	壁リストを表示/非表示します
	階段リスト	階段リストを表示/非表示します
	雑リスト	雑リストを表示/非表示します
	建具リスト	建具リストを表示/非表示します
	仕上りリスト	仕上りリストを表示/非表示します

※ アイコンのレイアウトが変更されました

(4). 入力ツールバー

	編集モード	既存の部材を編集するモードです (このモードでは新しい部材の作成はできません)
	通り芯入力モード	通り芯を入力/編集するモードです
	✓ 直通り芯	斜めや独立した通り芯を個々に入力するモードです
	曲通り芯	曲通り芯を入力するモードです
	補助芯	直線の補助芯を入力するモードです
	補助芯(矩形)	矩形の補助芯を入力するモードです
	補助芯(円形)	円の補助芯を入力するモードです
	通り芯ウィザード	水平と垂直の通り芯を一度に入力します
	ベース入力モード	ベースを入力/編集するモードです
	✓ 独立キノ	独立基礎を入力するモードです
	布キノ	布基礎を入力するモードです
	柱入力モード	柱を入力/編集するモードです
	梁入力モード	梁を入力/編集するモードです
	スラブ入力モード	スラブを入力/編集するモードです

 ☒ 一般スラブ ☐ スラブType1 ☐ スラブType2 ☐ スラブType3	一般スラブを入力するモードです スラブ Type1 を入力するモードです (未実装) (未実装)
 ☒ 一般壁 ☐ 傾き壁 ☐ 立上り壁	壁を入力/編集するモードです 一般壁を入力するモードです 傾き壁を入力するモードです 手摺、立上り壁、腰壁などを入力するモードです
 ☒ 一般階段 ☐ 螺旋階段 ☐ 扇形階段 ☐ 廻り階段90 ☐ 廻り階段180 ☐ 階段ウィザード	階段を入力/編集するモードです 一般階段を入力するモードです 螺旋階段を入力するモードです 扇形階段を入力するモードです (未実装) (未実装) 鉄砲階段や稲妻階段を一括入力します
 ☒ 雑Type0 ☐ 雑Type1 ☐ 雑Type2 ☐ 雑Type3	雑を入力/編集するモードです リストを使用しない部材を直接入力するモードです トップライトのくり抜きなどを入力するモードです パラペット、スラブ段差などを入力するモードです 機械基礎などを入力するモードです
	ミゾを入力/編集するモードです
	建具を入力/編集するモードです
	グループを入力/編集するモードです
	スラブ段差入力モード (未実装)
	仕上げを入力/編集するモードです
	スパン割を入力/編集するモードです

※ 一部アイコンのレイアウトが変更されました

※ 通り芯、ベース、スラブ、壁、階段、雑のサブツールバーはポップアップメニューに変更されました

(5). 部材ツールバー

C1	リスト名	選択している部材のリスト名を表示します ドロップダウンもしくは直接入力で変更できます
600×600	リストサイズ	選択している部材のサイズを表示します ドロップダウンで変更できます
2FL+0	天端	選択している部材の天端の高さを表示します ドロップダウンもしくは直接入力で変更できます
1FL+0	底端	選択している部材の底端の高さを表示します ドロップダウンもしくは直接入力で変更できます
	編集モード	矩形編集と頂点編集のモードを切り替えます

(6). 共通情報ツールバー

	部位	選択中の部材の部位別を表示します ドロップダウンから変更できます
	部材角度	選択中の部材の角度を表示します ドロップダウンもしくは直接入力で変更できます
	部材を左回転	選択中の部材を左に90°回転します
	部材を右回転	選択中の部材を右に90°回転します
	フタ	選択中の部材のフタの有無を表示/変更します
	側面	選択中の部材の側面の有無を表示/変更します
	底	選択中の部材の底面の有無を表示/変更します

4. マニュアルの表示

F1 キーを押すと CD に添付されている SPS マニュアルが表示されます。

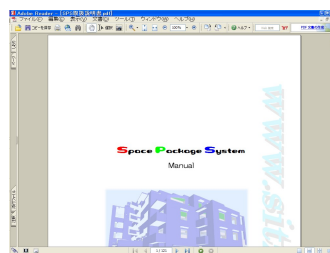


図19 SPS 取扱説明書